

会員の皆様

特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会

利益相反問題管理委員会

委員長 中西 洋一

副委員長 石岡 千加史

寄附講座所属教員の利益相反マネジメントについて

日本臨床腫瘍学会利益相反問題管理委員会では、臨床研究の公明性と透明性を担保することを目的として適正な利益相反マネジメントの実施に努めています。近年、寄附講座に所属する教員の利益相反が問題視されていますが、このことについての委員会としての見解を提示します。このことについて、質問や意見がありましたら遠慮なく事務局宛ご連絡下さい。

- 1) 寄附講座に所属する教員については、利益相反問題に関して特段の配慮が必要になると考えます。
- 2) 製薬企業等が設置する寄附講座の教員については、ガイドライン委員や教育委員など、社会的影響が大きな学会活動や臨床研究の実施に際しては、その就任の適正性を十分に検討する必要があると考えます。
- 3) ただし、寄附講座によっては必ずしもこれに該当しないケースとあると考えます。
- 4) 当委員会では、寄附講座の背景や性質等を十分に評価させていただいた上で、利益相反マネジメントに当たりたいと考えています。

問合せ先：日本臨床腫瘍学会事務局 (jsmo@jsmo.or.jp)

(2011/11/19 理事会承認)